

タイにおける日本食市場

サワディーカップ。アジア・アライアンス・パートナー（AAP）の辻と申します。今月より、岡山県ビジネスサポートデスクを担当させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

タイで日本食のブームが起きてから久しいですが、ジェトロの調査によると、2007年には800店に満たなかった日本食レストランが、2018年では3,000店舗以上に増えており、2019年現在でも新しい店舗のオープンが続いています。今回はタイにおける日本食市場についてお伝えします。

2014年にジェトロがタイ人を対象に行ったアンケートでは、「一番好きな外国料理は何か」という質問に対して、66%が日本食と答えており、タイ人にとって日本食は突出した人気を博しています。ここ数年の傾向としては、タイ最大の日本食チェーンであるフジレストランのような旧来の「天ぷらやラーメン、寿司など、何でも食べられる」総合和食の業態から、とんかつやお好み焼き、焼肉などの専門店の業態が増えてきているように思われます。特にとんかつは、日本の有名チェーンのさぼてん、まい泉、和幸や低価格チェーンのかつやなどが進出しており、それ以外にも現地の日本人やタイ人が経営するとんかつ専門店など、選ぶのを迷ってしまうほど、たくさんのお店があります。その他には、高級な寿司屋や本格的な個室会席料理店など、今まで以上の高級路線を打ち出したお店も増えてきており、タイに居ながらにして本格的な和食を食べることもできるようになりました。また、日本食には欠かすことのできない日本米や醤油・味噌などの調味料、納豆などの食品は輸入品以外にも現地生産しているものも多くあり、小売においても、日本食の広がりを見せています。

このようなタイ人の日本食に対する消費・嗜好の変化には、以下の要因が考えられます。

◆タイ人の所得の上昇

タイは順調な経済発展を背景に、個人所得は近年、上がり続けており、全国の平均所得はこの10年で約1.5倍となりました。経済的に余裕ができたことが一番の要因と思われれます。現代の若者にとっては、日本食はかつての「ハレの日の贅沢」から「日常の選択肢」となっているのかもしれませんが。

直近10年のタイ人の平均所得（月収、単位はバーツ）

年	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
平均所得	8,483	8,743	9,400	10,634	11,784	12,772	13,247	13,496	13,415	13,721

※上記は全国平均であり、バンコクなどの都市部ではこの3~4倍と推定される

出典：タイ中央銀行

タイにおける日本食レストラン数の推移

年	軒数	純増数 (増加率)
2007年	745	—
2008年	840	95 (12.8%)
2009年	1,084	244 (29.0%)
2010年	1,307	223 (21.5%)
2012年	1,676	369 (28.2%)
2013年	1,806	130 (7.8%)
2014年	2,274	468 (25.9%)
2015年	2,619	345 (15.2%)
2016年	2,713	94 (3.6%)
2017年	2,774	61 (2.2%)
2018年	3,004	94 (8.3%)

出典：JETRO 調査

◆タイ人の訪日観光客の増加

2013年、日本政府はタイ人観光客へのビザ免除を決定し、それ以降、日本を旅行で訪れるタイ人は増え続け、2018年には初めて100万人を超えました。タイ人にとって日本が身近になった分、日本食に対する意識や要求も高くなってきたと思われます。

訪日タイ人観光客の推移

年	2012	2103	2014	2015	2016	2017	2018
訪日タイ人数	260,640	453,642	657,570	796,731	901,525	987,211	1,132,160
増加率	—	74%	45%	21.2%	13.2%	9.5%	14.7%

出典：JNTO

◆タイ人の健康志向の高まり

タイでも近年、ジョギングや公園エアロビクス、サイクリングなどの流行により、健康への意識が高まっています。そんな中、食に対しても健康に配慮する傾向が強くなってきました。栄養のバランスがよく、健康的なイメージのある日本食が好んで食されているようです。

◆トレンドはバンコクから地方へ、日本人経営からタイ人経営へ

冒頭では増え続ける日本食店について触れましたが、実はバンコク単独での店舗数を見ると、2017年から2年連続で閉店数が出店数を上回り、前年割れが続いていることから、バンコク中心部ではすでに飽和状態にあると言えます。しかし、バンコクに隣接する県やチェンマイ、プーケットといった地方の観光都市ではそれを上回る勢いで店舗数が増えており、国全体としてはまだ成長市場だと考えられます。今後はタイ人経営によるタイ人向けの日本食店が増えていくでしょう。

今後も拡大が予想されるタイの日本食市場、飲食店の出店や食材の輸出などタイ進出を検討される際は、ぜひ当サポートデスクへご相談ください。

◇◆ちょこっとコラム◆◇

こんにちわ！岡山県タイビジネスサポートデスクのビューと申します。今日は私から見たタイの和食ブームについてお伝えしたいと思います。タイでは長い間、和食がブームです。タイ人にとって、外国料理の中で日本料理が一番美味しいと思っています。ショッピングモールや、日本人がたくさん住んでいるエリアに日本食のレストランがたくさんあります。コンビニでもおにぎり、寿司、冷凍枝豆などが販売されています。タイ人はサーモンが大好きです。甘くて脂がのっていて柔らかいところが好きです。刺身でも他の料理でも1番人気の魚です。タイでは日本と違ってサーモンは高級な魚なので、値段が高いです。お寿司も好きです。辛い物が好きなタイ人は寿司を食べる時にワサビをたくさんつけて食べます。私はサーモン刺身、ラーメン、お好み焼き、餃子、焼きそばなど日本料理が大好きです。よく日本料理のレストランに行きます。日本にはまだ食べたことがないおいしい料理がたくさんあると思いますので、旅行に行ったらいろいろなものを食べてみたいと思います。



タイ経済指標

項目	単位	2016	2017	2018	2019
GDP 成長率	前年比ベ (%)	3.4	4.0	4.1	2.6 (1~6 月)
人口*	千人	67,506	67,697	67,869	67,982 (8 月)
労働者の数*	千人	37,792	37,716	38,353	37,722 (9 月)
失業率**	%	0.99	1.18	1.06	0.99 (9 月)
最低賃金* バンコク	バーツ/日	300	310	325	325 (10 月)
チョンブリー		300	308	330	330 (10 月)
アユタヤー		300	308	320	320 (10 月)
ラヨーン		300	308	330	330 (10 月)
賃金：全国製造業の平均	バーツ	12,402	12,473	12,831	13,182(9 月)
インフレ率**	前年比ベ (%)	0.19	0.67	1.06	0.81 (9 月)
中央銀行政策金利*	%	1.50	1.50	1.75	1.50 (10 月)
普通貯金率**	%	0.47	0.47	0.47	0.47 (9 月)
ローン金利(MLR) **	%	6.47	6.35	6.32	6.32 (9 月)
SET 指数*	1975 年：100	1,542.9	1,753.71	1,563.8	1601.49 (10 月)
バーツ/100 円**	バーツ	32.53	30.27	29.26	28.63 (10 月)
バーツ/米ドル**	バーツ	35.30	33.9	32.31	31.21 (10 月)
円/米ドル**	円	108.8	112.2	110.4	109 (9 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	765,593	869,763	1,041,311	794,699 (9 月)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,688	1,227	1,469	717 (1~6 月)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	861.3	625.08	549.48	191.79 (1~6 月)

*期末、**平均

[出典：NESDB, BOT, MOL, SET, BOI]

岡山県タイビジネスサポートデスク

Asia Alliance Partner Co., Ltd.

所在地：1 Glas Haus Building, 12th Floor and Room 502, 5th Floor, Soi sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd., Klongtoey Nua, Wattana, Bangkok 10110 Thailand

担 当：辻 三朗 (つじ さぶろう)

「岡山県タイビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のタイでの事業展開を支援しています（岡山県から [Asia Alliance Partner Co., Ltd.](#) に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県タイビジネスサポートデスク](#)」利用の手引きをご覧のうえ、[岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。